

令和2年度 第3回沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 令和3年1月14日(木) 13時28分～14時03分
- 2 場 所 沼田市役所 庁議室(テラス沼田4階)
- 3 出席者 五十嵐会長 外委員11名(別紙のとおり)
- 4 会議の概要

委員14名中、12名の出席であり、会議は成立した。

会議の結果は、沼田市公式ホームページで公開することについて確認。

協議事項

令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画に係る事業評価について
内容(「資料」1～10ページ)

協議事項令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画に係る事業評価について、資料1ページから10ページまでが関東運輸局から示された様式及び参考資料として作成したもの。資料1ページについて、①が運行事業者である関東交通株式会社、②の事業概要については対象となる路線名や運行日数などを記載。

③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況については、沼須線の主な目的地である利根中央病院を運営する利根保健生活協同組合と情報交換を行い、利用者数及び年間収益減少の原因分析を行ったことを記載した。

④の事業実施の適切性について、事業が適切に実施されたかにより、A、B、Cの3段階で評価を行う。事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された場合A、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった場合B、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった場合Cとなる。②で示した事業概要は計画のとおりだったためAとした。

⑤目標・効果達成状況について、こちらも④と同様にA、B、Cの3段階で評価を行う。策定した計画の目標について、1点目が輸送容量195人、2点目が1日あたりの乗車人数34人、3点目が収支割合22.1%としている。効果については、交通弱者の交通手段を確保することにより、医療ニーズへの充足を図る。沼須町から市街地への交通手段を確保することにより、日常生活の利便性の向上を図るの2点を挙げている。事業実施の結果、1日あたりの乗車人数は29人、収支割合は18.4%となり、乗車人数、収支割合は目標を下回ってしまった。バス停別の乗降調査から病院の最寄りバス停に乗降が集中しており、本事業による、医療ニーズへの充足を図るという効果は認められると評価した。また車両の減価償却費補助等については計画どおり達成した。目標を達成できた項目と達成できなかった項目があるため、評価はBとした。

⑥事業の今後の改善点について、沼須線利用者のニーズを把握するため、沼

須線を含む沼田市委託路線バス利用者に対するアンケート調査を実施する予定であり、結果を路線の見直し等に反映すること及び、沼田市委託路線バス車両デザインの刷新を予定しているため、利用促進につなげることを記載した。

資料2ページの事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について、沼田市全体の公共交通と沼須線の現況を記載。本事業は地域医療にとって大きな役割を果たしていた利根中央病院が公共交通空白地域に移転することになり、高齢者など交通弱者の移動手段を確保することを目的としている。本地域では鎌田線等の営業路線が地域間幹線として運行されており、委託路線とあわせて利用しやすいネットワーク形成を図ることも記載。

資料3ページから10ページは事業及び事業評価の概要。3ページの地域公共交通の現況について、既存の事業者などのほか、事業の目的・必要性について、策定した計画の内容を記載している。資料右側に記載してある沼田市の概要では、高齢化率33.6%であり、前回事業評価の高齢化率は33.2%であったため、沼田市は高齢化が進み、高齢者の移動手段の確保は重要であると言える。

事業の概要については、前述のとおり。また、協議会の開催状況について、本日を含めて3回と記載。

資料4ページについて、アピールポイントとして、沼須線は利根中央病院への貴重な交通手段となっていることを記載。

資料5ページの目標・効果達成状況と事業の今後の改善点については、資料1ページのとおり。

資料6ページ以降は沼須線の現状の資料となっている。

事業評価提出後、関東運輸局などとの調整で表現の訂正などがある場合は、了承いただきたい。

その他

沼田市委託路線バス車両のデザイン刷新に伴い、愛称を公募した結果「ぬまくる」に決定したことを報告した。

沼田市委託路線バス対策事業について、経過等を報告し、委員の理解と協力をお願いした。

〈協議結果〉

「令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画に係る事業評価」について、異議なく原案のとおり承認された。